

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■期日

2017年10月15日（日）8：50～12：10（3時間20分）

■会場

加古川市立野口公民館 2階 講義室

■参加者

64名（子ども36名、保護者6名、子ども会育成者6名、  
子ども会役員7名、老人クラブ2名、青年リーダー7名）

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、防災・減災の視点でまちを見て歩き、日ごろからの暮らし方を考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
8：50	あいさつ 加古川市少年団指導者協議会 七條勝顧問
8：55	オリエンテーション
9：05	お話し「災害の話」
9：30	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレイキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
12：10	あいさつ 加古川市少年団指導者協議会顧問

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 加古川市少年団活動支援部 渡邊光弘  
スタッフ・記録 子ども会防災リーダー 7名

■会場の様子



語り部



アイスブレイキング



まちあるき



発表

■こどもたちによる防災の心得

- ・災害に応じた避難場所を家族と話し合う
- ・懐中電灯や非常食を準備する
- ・避難訓練に嫌がらず参加する
- ・自分を守りほかの人も守る
- ・自分のまちをよく知っておく
- ・避難するところを決めておく